

クリンテートFX-UVの効果確認試験



5月1日撮影(FX-UV)



5月1日撮影(FX-UV)



8月6日撮影(FX-UV)



5月1日写真(GM)



5月1日写真(GM)



8月6日撮影(GM)

試験目的

クリンテートFX-UVの効果確認試験

試験作物 及び品種

チンゲン菜

試験資材 及び数量(規格)

クリンテートFX-UV(0.1mm×840cm×33m)

慣行資材

クリンテートGM(0.1mm×840cm×33m)
クリンテートDX(0.1mm×840cm×33m)

資材使用期間

3月中旬～10月上旬

試験区面積

190坪

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

慣行区と比べ問題はなかった。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

試験区の方が透明度が高く温度の立ち上がりが早いと感じた。

それが原因かどうかは判然としないが生育が良く感じられた。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】：試験区の方が透明度が高く温度の立ち上がりが早い。また雪解けも早かった。どちらも防虫効果が高く、忌避効果を確認することが出来た。

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

慣行品と差はなかった。

(5)促成・抑制効果について

慣行品と差はなかった。

(6)保温効果について

試験品の方が透明度が高い分、朝の温度の立ち上がりが良かった。

(7)雑草・病害虫の発生について

どちらも防虫効果が高く、忌避効果を確認することが出来た。

また、裏面の被覆はUVカットフィルムではなかった。裏面含め全面にUVカットフィルムを被覆した場合の効果はさらに高くなると考えられる。

今年は、雨不足と猛暑で高温障害が出てしまった

が、フィルムの影響ではないと考えられる。

モニター感想

今期はちんげん菜→小松菜の順で4回転作を行った。

試験区の方が透明度が高く、温度の立ち上がりも良く感じられた。

普段は天井フィルムを2年周期で更新している。3年目も使えるのであればコスト軽減につながって大変良い。

JA担当者の感想(総合推進室 朝倉考査役)

当組合員はハウスを十数棟所有しており、少しずつ時期をずらして定植するように指導している。

よって、同じ日に試験区と慣行区を定植していないので参考程度にしかならないが、試験区の方が生育が良かった気がする。

また、従来のFXより硬さを改良した点は評価できる。

今後の使用について

継続して使用したい。

試験区、慣行区とも防虫効果に差はなかったが、透明性、生育差の面から来年以降はこちらを使用したい。